

精度管理用凍結プール血清 L-サイトロール® Plus

ISO 15189に最適なマルチコントロール

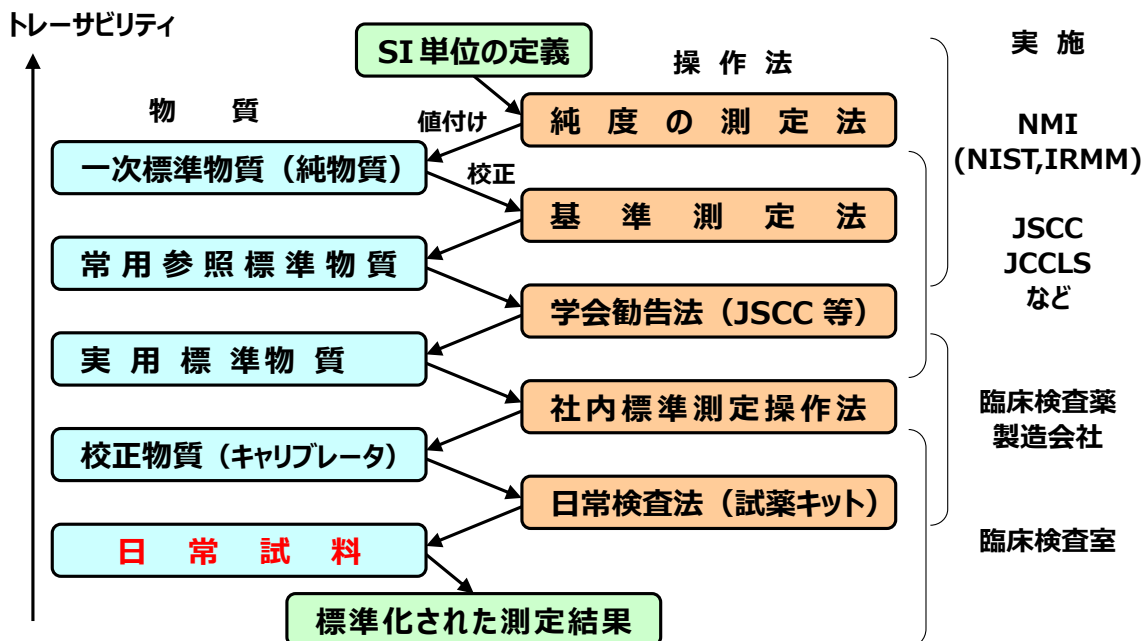
正確さ評価の管理限界を示す管理試料は「L-サイトロール」だけ！

■ L-サイトロールの新モデル

<特徴>

- ★ヒトプール血清をベースにしております。
- ★ヒト由来酵素を添加しており、ヒト血清に近似した反応性を示します。
- ★成分の表示値は、認証標準物質を基にトレーサブルな値付けをしております。
- ★LDおよびALPの表示値に、IFCC標準化対応法を追記しました。
- ★抱合（直接）ビリルビン、CK-MBおよび亜鉛を対応項目に加え、汎用性を向上させました。
- ★検査室のニーズを考慮し、2濃度のセット包装および開封が容易なスクリーキャップを採用しました。
- ★融解後、2～10℃遮光保存にて3日間使用できます。

■ 測定のトレーサビリティ体系、ISO 17511（JCCLSホームページより改変）



※1. 本製品は日常試料に近く、トレーサビリティチェーンの流れに含まれる管理試料



製品名	包装	製品コード
L-サイトロール® Plus	1、2セット 各3mL×20本	56862

価格表はこちら



島津ダイアグノスティクス 株式会社

お問い合わせ先：カスタマーサポート担当

TEL. 03-5846-5707

E-mail：support@sdcs.shimadzu.co.jp

臨床診断薬分野 医療関係者向けサイト

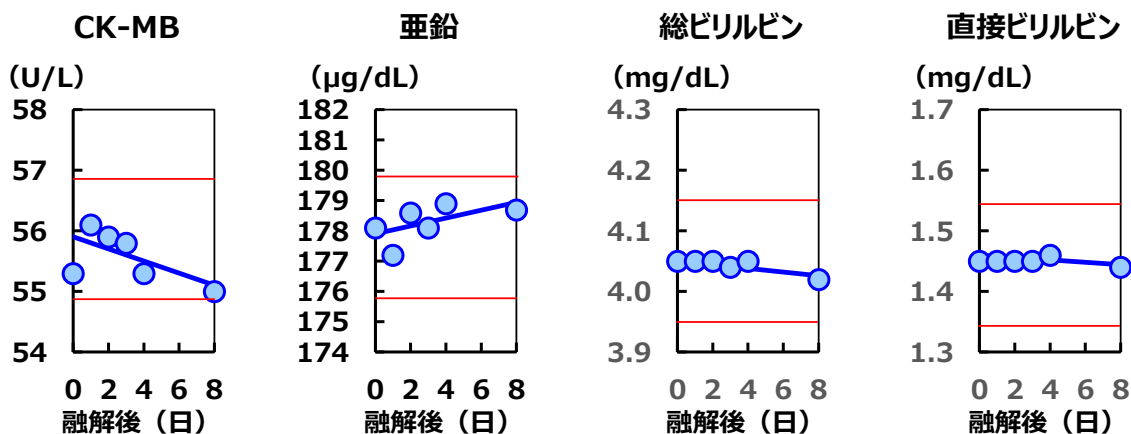
<https://clinical-diagnostics.biz.sdc.shimadzu.co.jp/>



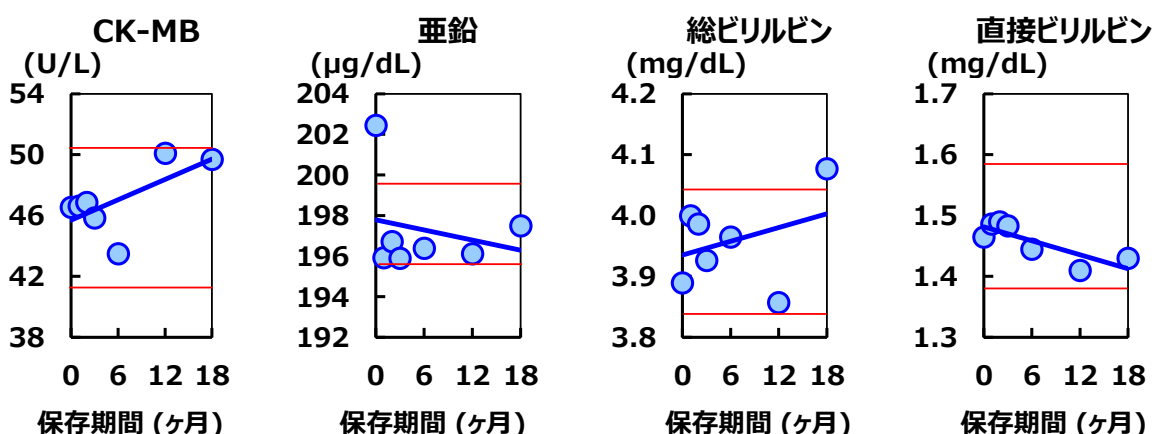
精度管理用凍結プール血清 L-サイトロール® Plus

L-サイトロール® Plus 安定性データ (抜粋)

融解後の安定性 (新規項目)



長期保存安定性 (新規項目)



※1 処方改良によって、ビリルビンの安定性が向上しました。

※2 他の項目も同様に、融解後冷蔵 (2~10℃、密栓、遮光) で3日間、-40℃ (未開封) で18ヶ月の安定性が確認されています。

※3 使用用途を鑑みた、日常検査でこれ以上求められない厳格な許容幅

■ L-サイトロールPlus成分値表について

- ①表示値および表示値の不確かさは、当社で測定し算出しました。表示値の不確かさは、95%信頼水準に対応する拡張不確かさ (k=2) で表しています。この拡張不確かさは、設定した表示値の確からしさを反映するものであり、施設における測定結果を管理するものではありません。
- ②正確さの管理限界は、表示値の不確かさ及び多施設における室間再現条件での技術水準を合成し、設定しました。施設における測定値がこの範囲内にあれば、施設間変動の分布と比較し有意な偏りを認めないと考えられます。
- ③IFCC標準化対応法 (LD, ALP) :
室間再現条件での技術水準のデータ収集ができるまで、正確さの管理限界を表示できません。

